公益社団法人日本記者クラブ
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1　Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271
Japan National Press Club　2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011
http://www.jnpc.or.jp/

プレスリリース　Press Release

2020 年 6 月 8 日
公益社団法人　日本記者クラブ

解禁時間はありません

青野由利･毎日新聞論説室専門編集委員に日本記者クラブ賞
特別賞はＮＮＮドキュメント・シリーズに

公益社団法人日本記者クラブ（原田亮介理事長）は 6 月 8 日、理事会を開き、2020 年度の日本記者クラブ賞を専門記者として科学報道の地平を広げてきた、毎日新聞論説室専門編集委員の青野由利氏（63）に、特別賞を今年、放送開始から 50 年を迎えた NNN ドキュメント・シリーズに贈ることを決めた。

贈賞式は 6 月 22 日、日本記者クラブで行い、賞状と副賞を贈る。

また、青野氏と NNN ドキュメント・シリーズ担当者による受賞記念講演会を 7 月 29 日午後 5 時から日本記者クラブで行う。この催しには日本記者クラブ会員だけでなく、一般の方も参加できる。

以下の資料を添付します。（本ページ含め計 5 ページ）

【贈賞の理由】
【受賞者の紹介】
【日本記者クラブ賞と日本記者クラブ賞特別賞について】
【日本記者クラブ賞受賞記念講演会の案内】

問い合わせは日本記者クラブ事務局（担当・村田、電話 03-3503-2727）へ。

（了）

公益社団法人日本記者クラブ
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1　Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271
Japan National Press Club　2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011
http://www.jnpc.or.jp/

【贈賞の理由】

▼日本記者クラブ賞

青野由利（あおの・ゆり）　毎日新聞論説室専門編集委員

30 年以上にわたり、科学報道の第一線で精力的に取材を続けてきた。生命科学から宇宙論まで科学の各分野をわかりやすく解説するだけではなく、「科学と社会との接点」を常に意識した姿勢も高く評価したい。特に週 1 回の連載コラム「土記」は、科学的視点を踏まえながら人間の喜怒哀楽が伝わってくる完成度の高い内容となっている。『ゲノム編集の光と闇』など単著 7 冊、共著・共訳 9 冊と新聞以外でも活発な執筆を続けている。新型コロナウイルス問題で科学報道の重要性が再認識されている時期でもあり、科学報道を牽引してきた業績を顕彰したい。

▼日本記者クラブ賞特別賞

ＮＮＮドキュメント・シリーズ

社会派ドキュメンタリー番組を 50 年間も継続させることは、放送界の常識を超える偉業であり、関係者の努力に敬意を表したい。全国各地の NNN 系列局が、環境問題、教育、戦争、貧困などあらゆる社会問題をテーマとして番組を作り続けてきた結果、番組の歩み自体が戦後日本社会の歴史を網羅的に記録した貴重な映像アーカイブとなっており、今後の研究や教育にも活用できる。また地方発のドキュメンタリー番組が毎週全国放送される意義も大きく、現場の意欲と制作力の向上にも貢献してきた。

公益社団法人日本記者クラブ
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1　Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271
Japan National Press Club　2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011
http://www.jnpc.or.jp/

【受賞者の紹介】

青野由利（あおの・ゆり）氏

1957 年東京生まれ。80 年東京大学薬学部卒。97 年同大学院総合文化研究科修士課程修了。80 年 4 月毎日新聞社入社。横浜支局、社会部、科学環境部、論説委員などを経て 2012 年から論説室専門編集委員。1988～89 年米 MIT ナイトサイエンスジャーナリズムフェロー、1999 年～2000 年英ロイターフェロー。生命科学、天文学、地震、火山、原子力などの分野を担当。16 年 4 月から土曜日朝刊コラム「土記」連載中。著書に『ゲノム編集の光と闇』（ちくま新書、2019 年、第 35 回講談社科学出版賞受賞）、『宇宙はこう考えられている』（ちくまプリマー新書、2013 年）、『インフルエンザは征圧できるのか』（新潮社、2009 年）など。

ＮＮＮドキュメント・シリーズ

1970 年放送開始。74 年から系列各社も参加し、現在は日本テレビ系列の 29 局で制作・放送されている。放送時間は毎週日曜深夜 24 時 55 分。半世紀にわたり現代日本の在り方を問い続け、戦争や平和、公害や環境、災害や事故、生涯や福祉、教育や家族などをテーマに、これまで 2500 本を超える番組を手掛けてきた。75 年放送の「明日をつかめ！貴（たかし）くん　～4745 日の記録～」は日本のテレビ番組で初めて国際エミー賞を受賞、その後も制作した番組は多数の賞を受けている。2020 年 2 月には 50 年間の放送をまとめた『NNN ドキュメント・クロニクル　1970-2019』（東京大学出版会）が刊行された。

公益社団法人日本記者クラブ
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1　Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271
Japan National Press Club　2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011
http://www.jnpc.or.jp/

【日本記者クラブ賞と日本記者クラブ賞特別賞について】

日本記者クラブ賞は、千葉雄次郎氏（元日本新聞学会会長）が同クラブに贈った寄託金を基金として 1972 年、創設された。その後も、クラブへの寄付金を基金に積み増し、賞を運営している。報道・評論活動などを通じて顕著な業績をあげ、ジャーナリズムの信用と権威を高めた日本記者クラブ会員および法人会員社に属するジャーナリスト個人に贈る。今回の青野氏を含め、これまでの受賞者は計 55 人。

日本記者クラブ賞特別賞は、クラブ賞創設 40 年を機に、より開かれた賞をめざして 2012 年度に新設された。原則としてクラブ会員以外の内外のジャーナリストやジャーナリズム活動に贈る。ジャーナリズムの向上と発展につながる特筆すべき業績や活動を顕彰する。今回の NNN ドキュメント・シリーズを含め、これまでの受賞は計 11 件。

いずれも日本のジャーナリズムの高い水準を示す表彰であり、日本記者クラブの公益目的事業のひとつである。

＊歴代受賞者には日本記者クラブのホームページにある「日本記者クラブとは」から「日本記者クラブ賞」を選択すると参照できます。

公益社団法人日本記者クラブ
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1　Tel 03-3503-2722 Fax 03-3503-7271
Japan National Press Club　2-2-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011
http://www.jnpc.or.jp/

【日本記者クラブ賞受賞記念講演会の案内】

2020 年度日本記者クラブ賞を受賞した青野由利氏が専門記者として長年フォローしてきた科学報道を、NNN ドキュメント・シリーズの担当者が同シリーズの歴史を語ります。参加者の質問に答えていただく時間もあります。日本記者クラブ会員だけでなく、一般の方も参加できます。

登壇者

青野由利・毎日新聞論説室専門編集委員
ＮＮＮドキュメント・シリーズ担当者（後日、クラブのホームページで告知します）

日　時　7 月 29 日（水）午後 5 時～7 時
会　場　日本記者クラブ　10 階ホール
（東京都千代田区内幸町 2-2-1　日本プレスセンタービル）
参加費　無料

応募方法　**※往復はがきとホームページで受付**

いずれの方法でも、1 人の申し込みで 2 人まで応募できます。折り返し参加の可否をお知らせしますので、連絡先を忘れずに記入してください。電話による申し込み・問い合わせは受け付けておりません。いただいた個人情報は本講演会以外の目的には使用いたしません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況をもとに、7 月 15 日（水）に定員を決めます。その時点での応募順で、会場にお入りいただくか、インターネット中継でご覧いただくかをご連絡します。

【往復はがきの場合】

住所、氏名、同伴者名（ありの場合）、電話番号をお書きのうえ、以下の住所までお送りください。

100-0011
東京都千代田区内幸町２-２-１　日本プレスセンタービル 9 階
日本記者クラブ事務局「クラブ賞受賞記念講演会」係

【ホームページの場合】

日本記者クラブのホームページ（https://www.jnpc.or.jp）にある応募フォームからお申し込みください。